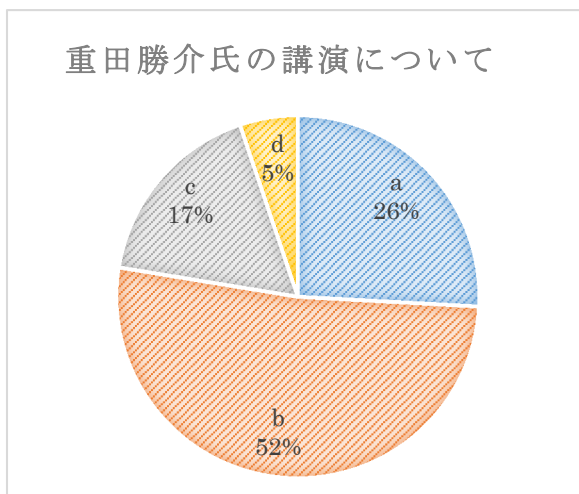


○テーマ

「オープンエデュケーションによる大学教育改善～反転授業・e ラーニングの可能性と課題～」

1. 北海道大学 重田 勝介氏の講演はいかがでしたか。



- a. 大変良かった
- b. 良かった
- c. ふつう
- d. やや良くなかった
- e. 良くなかった

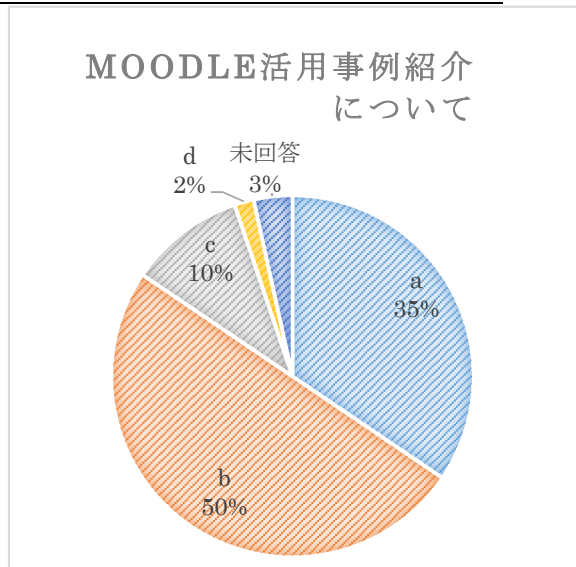
a. と回答した方の意見

- ・将来的なヒントが多くあった。
- ・Open Education/Mooc の現状について、実際を知ることができた点。
- ・これから話す項目をまず紹介されたあと、各項目について具体的な事例に基づき詳細に説明されていたので、非常に分かりやすかった。
- ・授業時の話し方という面でも、大いに参考になりました。
- ・新しい大学教育の方法について刺激を受けました。
- ・オープンエデュケーションについての最新情報を聞くことができ、今後の教育のあり方を考えるにあたってとてもためになった。
- ・現状と将来の方向性がよくわかった。パワーポイントもわかりやすかった。
- ・今まで知らなかった世界を知れた。反転授業についてのイメージがわかった。(よい方向へ)
- ・知らなかった領域を知り、参考になった。

b. と回答した方の意見

- ・難しい話だと思っていたが、意外と関心を持ちました。実際に利用することが大切かもしれない。
- ・以前からオープンエデュケーションは知っていたがより具体的に詳しくわかった。
- ・もう少し具体例及び課題を知りたい。Mooc が広がっているのは著名大学、一般的な学生が OER を使って勉強するか疑問
- ・オープンエデュケーションの立ち位置と今後について知ることができた。
- ・オープンエデュケーションの先進的取組事例を理解できた。
- ・自身も若干かかわっている中国語教育支援サイト Chinese Station に非常に近い取り組みを系統立てて紹介いただけて、参考になった。
- ・未知の問題、しかも実践可能な領域に触れることができた。
- ・近年の Mooc だけでなく、幅広い流れを説明していただいた。
- ・OER の可能性についてわかりやすく教えて頂きました。
- ・今まで知らなかったことを知ることができ、知識が広がった。
- ・自分の教育を振り返る機会になったから。
- ・OER については全く知らなかったのが、貴重な情報を得ることができたことは大変良かった。今後利用・活用していきたいと思う。
- ・日本および世界のオープンエデュケーションの概要がたへいよく分かった。教育工学を専門としておられるだけあって、オープンエデュケーションを網羅的に調べられていることがよく分かりました。
- ・既存の教材を再検討する意義を理解できた
- ・先進事例を聞くことができ参考になりました。
- ・概念的な理解を広げられた。
- ・オープンエデュケーションに関する現状についてとても分かりやすくご説明いただいた。ただ、資金面での課題がクリアされないとなかなか普及しにくいように感じた。海外では VC や企業がなぜ資金提供するのかメリットは何なのか気がなりました。

2. 本学の Moodle 活用事例紹介はいかがでしたか。



- a. 大変良かった
- b. 良かった
- c. ふつう
- d. やや良くなかった
- e. 良くなかった

a. と回答した方の意見

- ・演習科目の Moodle の利用の仕方がよく分かった
- ・啓発されるアイデアがいくつかあり、勉強になりました
- ・Moodle を活用しつつ、学生が授業に積極的に参加する工夫がこらされており、おもしろかった。学生が主体的に活用していくようになる点が興味深かった。
- ・実用的でとても良かった。講義と演習とに分かれていて良かった。
- ・役に立つ話が多く良かった。
- ・現在のゼミ・講義の運営を見直すにあたり多くのヒントをいただいたように思います。
- ・どう利用の仕方がされているのかがわかって面白かった
- ・事務処理軽減のためのヒントになった。
- ・身近な事例でイメージがしやすかった。
- ・実際的なヒントが得られた。
- ・今すぐにでも活用できる取組みで全学的に浸透してほしいと思いました。とても効率的でミスの発生を減らすことにつながると思いました。

b. と回答した方の意見

- ・操作方法はともかく利点が多かった
- ・色々な活用方法があるのが参考になった。
- ・「地に足のついた」というお話どおり、自分自身でも使ってみたいと感じた。
- ・普段行っていない活用方法を聞くことができた
- ・Moodle の活用の具体例を理解できた
- ・多くの方が効果的に利用していると思うが、レポート提出等は行き違い、手違いの可能性がなくなるので、もっと活用されても良いのかと思う。
- ・私自身も Moodle を使っているので、他の先生がどのように利用されているのかを知ることができた
- ・講義科目での発言管理というのは、おもしろいやり方と思った。
- ・Moodle の身近な事例をお聞きすることができて、勉強になりました。
- ・私も Moodle を使っていますが、まだ教材提示に留まっています。もっと活用する余地があり、勉強になりました。
- ・為廣先生のスタイルがよくわかったから。(また学生同士の学び合い事例がよかった。)
- ・Moodle の活用のしかたを具体的に知ることができて、大変良かった。一部は実際にやってみたいと思うが続くかどうか、吟味選択しながら利用していきたい。
- ・ぜひ本ゼミでも活用したいと思います。
- ・実際の活用例を理解することができた

3. 本講演会を聞いて、ご自身の教育活動にどのように活かしていけばいいと思いますか。

- ・資料配布や演習科目の資料提示に Moodle を利用したいと思う
- ・Mooc に関しては不勉強であったので、まずはそれをとっかかりにしてオープンエデュケーションを考えていきたい。
- ・自分も講義科目、演習科目ともに moodle を利用しているので、その利用状況と照らし合わせて聞くことができたため、特にスケジュール共有のコツなどはぜひ取り入れたいと思います。
- ・授業方法の転換はすぐにできることではないかもしれないが、要素だけでも取り入れていければと思う。
- ・教材作成や教育方法を振り返っていききたい
- ・オープンエデュケーションと実際のコミュニケーション力を up した授業の効果的な組み合わせを考えたい
- ・Mooc、Moodle は最大限に活用すべきであろうと思います。（現在、鋭意努力中ですが）
- ・オープンエデュケーション等を意識した講義資料の用意、OER の活用
- ・教えるチカラを向上させる一手段（公開には堪え得るものを作ることを通して）として、利用していけるかなと。
- ・オープンエデュケーションの講演をうかがって、ますます“ライブ”の講義の中身をどう充実させるかを考えました。“オープン”ではなく、“クロード”教室で学生と教員、学生同士の濃いインタラクションを実現することが、“オープン”では実現されない教育となるのではと思いました。
- ・まずは Moodle から試みる
- ・すでに学生にした説明（文章の書き方、論文の体裁などについて）を学生自身がどう確認できるようにするか考えたい。
- ・外に出して恥ずかしくないものを作る
- ・OER を探すことから始めてみます。演習科目での Moodle 活用は大変参考になりました。早速取り入れたいと思います。
- ・教材という概念の再整理
- ・「学びたいと思わない人」にどうそう思わせていくか、という教師の力量について
- ・個人で取り組めるのは、Moodle の活用だと思う。Mooc は各単位での話し合いを進めていくのがよい。
- ・講演を聞いて啓発を受けたが、実際の授業で使えそうなものから利用していきたい。
- ・質問者の方がおっしゃったように、我々は自分の講義が社会にさらされてもいいように、講義自体の質を高めていかなければならないという意識が更に高まりました。
- ・Moodle で教材提示（講義）や学習スケジュール（ゼミ）をすでに公開しているので、このままの方針で行きたいと感じた。
- ・Mooc などについては将来的課題かもしれませんが、Moodle については現在のゼミに活かそうなので活用したいと思います。
- ・もうやっています。
- ・もっと Moodle を有効的に使おうと思いました。
- ・活用したいが自身のパソコンを扱う技量がないのが何ともならない。
- ・ムードルで自主的な学習を促進させたい。

(参考) 今回の講演参加者の年代

